



京機会ニュース

No. 17 平成17年(2005年) 10月7日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、E-mail:keikikai@bz3.hi-ho.ne.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>



速報 学生フォーミュラ大会 京大チームは、41校中12位の好成績！
(2005年9月6日～9日 富士スピードウェイ内モビリティ)



特別企画 テニスを楽しむ会
(2005年5月28日 (株)島津製作所テニスコート)

目 次

会長挨拶	2頁	関東支部からのご報告とお知らせ	10頁
訃報 島 進 教授	3	中部支部からのご報告とお知らせ	11
平成17年度京機会春季大会・総会のご報告	3	中国・四国支部からのご報告とお知らせ	11
平成17年度京機会秋季大会・総会のご案内	4	学生会(SMILE)からのご報告とお知らせ	12
京機学生会主催 学生と先輩の交流会のお知らせ	4	大学の法人化について	12
会計関連のご報告とお願い	5	21世紀COEプログラムのページ	13
平成17年度京機会役員	5	特別企画「テニスを楽しむ会」のご報告	13
平成17年度京機会評議員	6	会員のページ	14
平成16年度京機会決算報告	7	教官の異動	15
京機会九州支部発足総会のご案内	8	京機会関連教室送別パーティーのご報告	15
関西支部からのご報告とお知らせ	8	写真のページ	16

島 進 教授の訃報については、3ページに掲載いたしております。ご冥福をお祈り申し上げます。

平成17年度会費(年会費3,000円)の納入をお願いします！

平成16～18年度分会費を完納されますと、平成18年11月発行予定の会員名簿を無料でお送りします。
最近の納入状況は同封の個人データ(会費状況欄)に記載しております。

京機会では、現在、個人情報保護についても取り組みを進めております！

今回の京機会ニュースより、返信はがき用「保護シート」を同封いたしました。返信時にご利用下さい。

会長就任挨拶

川口 東白(S34)

京機会は、現在、同窓会組織として、法的ルールの無い任意団体として自律的に会則や細則の自主ルールを決めて運営されております。

そのため、財政収入の面では、専ら会員からの会費収入に頼らざるを得ず、現在は連絡可能会員5500人の35～40%の人達からの会費に依存した財政規模となっています。したがって、事務局員も1名が限度であり、なかなか、会員の皆様方に喜んで頂ける活動まで拡大していけない悩みがあります。年2回の総会と活動の中心である幹事会の年2回の開催、並びに各支部の活動等、多くの行事において関係者の方々の無償ボランティアの御協力を頂いておりますが、それでも年間150万～200万円の赤字を出しております。

平成17年度も去る5月13日の春季総会で新しい役員が選任されスタートしましたが、今年度は上述したような京機会の将来に影を落としている重要な問題を課題として明確にし、その解決に向けて幹事会を中心に挑戦して行きたいと考えております。

去る6月18日に開催されました新役員による平成17年度第1回幹事会において、京機会が現在抱える問題の中から重要な課題を抽出し、その解決策を審議するための特別委員会の設置が、会則のルールに沿って決議されました。

特別委員会の内容は次の通りです。

【特別委員会の要旨】

京機会の重要課題として“京機会会員の定義”と“財政収支の黒字化”を中心に解決策を審議し、11月12日の臨時幹事会に答申する。幹事会にて最終確定をしたあと、12月3日の京機会総会にて報告する。

【特別委員会委員】

28名の現幹事会メンバーの中から、下記に示す6名の常任委員が選出された。

委員長 久保愛三常任幹事

副委員長 熊澤正博常任幹事



委員 中川 哲副会長、熊本博光代表幹事
松久 寛常任幹事
牧野俊郎常任幹事(第二世紀記念事業会
実行委員長)

京機会本部の活動の中心である幹事会における実質審議時間は年間2回で計6～7時間しか無いため、定例事項の承認審議だけで手一杯で、とてもむづかしい課題の設定やその解決策の審議は出来ない状況であります。幹事会にデータやアイデアを出す事務局スタッフも実質不在の現状では、幹事会の中から選出された少人数の委員の方々に事務局スタッフの分までやって頂くしか方法がありません。

6月18日に幹事会で選任された特別委員の方々は、久保委員長を中心に7月10日、31日、8月24日と既に3回の委員会を開いて大いに激論を頂いており、現役で大変お忙しい特別委員の皆様方には心から感謝申し上げる次第であります。

支部活動につきましては、支部長と支部役員の方々が中心となって支部毎に活動が行われており、先輩格の関西支部は勿論ですが、関東支部が京都大学21世紀COE社会連携セミナー等を利用して支部活動の活性化を推進しておられます。又、中国・四国支部も平成17年度は若手との交流会を四国徳島と、岡山、広島の3地区で開催する準備を進めておられ、支部活動の活性化にむけて努力されていることに敬意を表したいと思います。

この度、九州支部が設立されることとなり、設立総会の行事内容と日程については、本HP九州支部の項目に紹介されていますので、是非多くの方々の参加をお願いいたします。

しかしながら、支部活動に使える本部からの交付金も少なく、本部・支部を含めた京機会活動全体の更なる活性化のためには、今以上の財政収入の拡大と共に関係各位の知恵と御協力、そして何よりも会員の皆様方の温かい御支援を幹事会を代表してお願い申し上げます。



平成17年度春季大会・総会の風景

訃報 島 進 教授

京都大学工学研究科機械系工学群マイクロエンジニアリング専攻マイクロシステム創成講座マイクロ加工システム分野教授島進先生は、3年ほど前より病に侵され闘病生活を続けてこられました。この7月ごろより体調を崩し入院され、8月13日、京都大学医学部附属病院において逝去されました。享年62歳でした。

島先生は、1965年京都大学精密工学科を卒業され、東京三洋電気(株)において2年ほどの企業経験を積まれた後、機械工学科の大矢根守哉教授の研究室の助手として大学に戻られました。その後、イギリスのインペリアルカレッジに留学され修士号を取得、帰国後、1976年に A study of metal powder and porous metals の研究により、京都大学工学博士の学位を取得されました。1980年には機械工学科助教授、1988年には教授に昇進され、以降、機械系工学教室において研究・教育に主導的役割を熱心に果たしてこられました。

島先生の研究分野は、塑性加工関係全般に及び、粉体成形にかかわる圧縮性材料の塑性理論と塑性加工プロセスの知能化および加工成形プロセスの計算科学に関する研究を進められました。特に島先生の開発された圧縮性粉末・多孔質材料の変形特性を支配する式は島-大矢根の式として世界的な標準モデルとなっていま

す。これらの研究成果は高い評価を得ており、1980年には粉体粉末冶金協会から研究進歩賞を、1993年には同協会より研究功績賞を授与されております。また1999年には日本塑性加工学会学会賞の最優秀賞である会田技術賞を、2002年には、IPMMより J.Keith Brimacombe Award を授与されております。

また、島先生は研究のみならず教育活動にも力を入れてこられました。その誠実なお人柄から、若い学生達にもしっかりと語りかけるように接し、納得のいくまでディスカッションをされていました。先生のご指導のもと研究に励んだ多くの教え子は、現在各界で活躍しています。

先生のご葬儀は、8月16日に執り行われました。生前愛したギターの音楽が奏でられる中、多くのご友人、教え子らに囲まれながら先生は旅立たれました。

ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。
(津守不二夫記)



平成17年度京機会春季大会・総会のご報告

平成17年5月13日に(株)島津製作所のお世話により、平成17年度春季大会が本社・三条工場研修センターにおいて開催された。

総会では、開会の挨拶に続き、平成16年度の活動報告、会計報告、支部報告、第二世紀事業報告があり、役員改選が行われ、新会長の川口東白氏(S34)より新年度運営方針の挨拶があった。

続いて、島津製作所常務取締役 川辺泰嗣氏(S40)よりご挨拶をいただき、講演会が始まった。まず、同製作所長曾哲夫氏(S59)による「二酸化炭素固定化技術ー地球温暖化抑制と循環型社会実現にむけて」と題する講演があった。次に、同製作所の山本林太郎氏(S63)が「ゲノムを読むーMEMS技術を用いた次世代DNAシーケンサー」と題して講演された。

休憩の後には京都カスタマーサポートセンターおよびメディカルセンターを見学し、講演と工場見学に関する質疑応答も行われた。

夕方の5時半からは懇親会があり、挨拶と乾杯ならびに学生フォーミュラ報告があり、歓談の後、大学や学生会からの報告もまじえ、旧交を温め合うとともに各種の情報交換が盛況に行われた。

最後に恒例にならって琵琶湖就航の歌を全員で斉唱し、平成18年度の春季大会を開催していただくことになった住友電気工業(株)西出 裕氏(S58)からのご挨拶の後、春季大会を無事終了した。

1. 総会

(i)平成16年度活動報告

(ii)平成16年度会計報告・会計監査報告

平成16年度収支決算書はP.7に掲載。

(iii)支部報告

(iv)第二世紀記念事業報告

(v)役員改選等

平成17年度の役員はP.5~6に掲載。

(vi)新会長挨拶

2. 講演会

(1)「二酸化炭素固定化技術

- 地球温暖化抑制と循環型社会実現にむけて -」

(株)島津製作所 環境ソリューション事業推進室
長曾哲夫氏(S59)

温室効果ガスである二酸化炭素の削減と再利用のために、有機性廃棄物から得られるメタン発酵ガスを利用した二酸化炭素固定化システムを開発した。製作したパイロットプラントを使って、反応系内のほぼ100%の二酸化炭素は固体炭素と水に変換できた。固体炭素はカーボンナノファイバーと呼ばれ、導電性付与材料としての応用が期待されている。今後はさらに水素製造システムへの展開を検討中である。

(2)「ゲノムを読む

- MEMS技術を用いた次世代DNAシーケンサー -」

(株)島津製作所 分析計測事業部

ライフサイエンス研究所 山本林太郎氏(S63)

生命の設計図と称されるゲノム、その解析技術はコンピュータの進歩になぞらえるほど目覚ましいものがある。生命科学を利用したその原理を知って頂くことで、計算の上に成り立ち、ある意味、無機的な機械工学の世界とは一線を画す、生命科学の神秘の一端に触れて頂きたい。また、解析精度はもちろん、スループット、ランニングコストにおいて、次世代マシンといえるMEMS技術を応用したシーケンサーの開発を紹介した。

平成17年度京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催致しますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成17年12月3日(土) 15:15～

会場：京都大学百周年時計台記念館

行事：

1. 講演会 15:15～16:00

『エンジンの研究・教育』

石山 拓二氏(S53卒、京都大学大学院 エネルギー科学研究科 エネルギー変換科学専攻 教授)

最近のレシプロエンジン技術の変化を概観し、技術の変遷に呼応してエンジンに関連する研究の内容及環境がどのように変わったかを自身の体験談としてお話しする。その上で、基礎工学の応用分野であるエンジン工学を教育する上での問題点と今後について述べる。

2. 講演会 16:10～16:55

『戦略的商品開発と当社圧縮機事業における成功例』

小谷 重遠氏(S44卒、(株)神戸製鋼所 代表取締役副社長)

企業の商品開発の第一義的目的は競争優位を築くことである。前例のない新規性や突出した特長を実現することが戦略的に重要である。ハイテク分野でない成熟分野でも改良技術を越えた革新技術を生む努力が試されている。当社の圧縮機事業における成功例を幾つかご紹介し、企業の商品戦略を考えてみたい。

3. 総会 17:00～17:50

(1)会計報告、会計監査報告

(2)運営報告と審議

(3)支部報告(関西、関東、中部、中国・四国、九州支部)

(4)学生会報告

懇親会： 18:00～20:00

会場：京大生協吉田食堂

会費：3,000円 学生1,000円(当日会場でお支払い下さい)

○ご自由な服装でお越しください。

○ご回答は、**11月22日(火)までに、同封のはがきでお寄せ下さい。**

京機会HP(<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)からも、受付できます。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「HP受付」のどちらか一方でお願いします。

◎当日は、13:30より、評議員会を開催いたします。評議員各位には、後日、ご案内をお送りいたします。

学生各位！

京機会・京機学生会 学生と先輩の交流会のお知らせ

日時：平成17年12月3日(土) 11:45～

会場：京都大学工学部物理系校舎

交流会とは？：

“学生と先輩との交流会”では、京都大学機械系をご卒業され、現在、様々な分野でご活躍されている先輩方を多数お招きし、会社での仕事内容ややりがい、就職活動、大学生活などについて、直接先輩方からお話しを聞くことができます。京機会という同窓会組織のネットワークを活用し、京都大学機械系のOBという視点から多くのことを助言していただけます。OBの方々と自分のキャリアプランを照らし合わせて、自身の将来について具体的に考えることができる絶好のチャンスです。ぜひご参加ください！

会計関連のご報告とお願い

会計状況について

平成16年度は、引き続き学生会への活動補助を行うとともに、支部交付金の算定法改訂など、会の活性化と事務作業の合理化を進めました。各位のご努力、ならびに第二世紀事業や21世紀COEからのご協力により、会計報告に示しましたように、単年度収支では比較的小幅な赤字となりましたが、本会単独で見ると、厳しい収支状況といえます。こういった状況を受けて、会長の挨拶にもありますように、現在、特別委員会において財政収支の黒字化に向けた諸策の検討が行われております。

会費納入のお願い

平成17年度の会費 3,000 円の納入をお願い致します。本会の運営は引き続き、経済的に厳しい状況にあります。上記のように、今後、財政健全化の諸策を実行してゆく予定ですが、本会の財政基盤はなんといっても皆様からの会費により形作られています。会の存続と活性化のため、ぜひとも会費納入をお願いいたします。

寄付のお願い

ご承知のとおり本会では寄付をお願いしております。前号以来、右表に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

げます。

会費ならびに寄付ともに添付の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認下さい。本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合には、必ず所定欄に金額等をご記入いただきますようお願いいたします。

高額(10万円以上)ご寄付者

S37 中谷征司 様 (30万円)

S41 畑 憲一 様 (10万円)

平成17年度ご寄付者(H17.3.1~H17.9.15)

S17 森本浩江 様 S22 川久保久健 様
S25 松浦精一 様 S26 巽 竹次 様
S27 岩崎恵二 様 S25 湖崎一俊 様
S33 仁科稜三 様 S37 鈴木健二郎 様
S39 垣野義昭 様 S41 森本一宇 様
S43 中西 清 様 S43 名村 清 様
S44 金戸 成 様 S44 玄 丞 様
S49 馬場啓太郎様 S52 稲垣義治 様
H10 五嶋大祐 様

平成17年度京機会役員(敬称略)

【会長】

川口東白(S34、宇部興産(株)顧問)

【副会長】

関西支部 中谷征二

(S37、住友電工焼結合金(株)監査役)

関東支部 二宮 敏

(S33、パブコック日立(株)名誉相談役)

中部支部 瀧本正民(S43、トヨタ自動車(株)副社長)

中国・四国支部

河田耕一(S37、高知工科大学 教授)

大学 池内 健

(S40、マイクロエンジニアリング 教授)

会長指名 中川 哲

(S38、キャタラ(株)代表取締役社長)

学生会 西口征郎(H17、機械理工学 修士1回生)

【監事】

藤本 孝(S39、京都大学名誉教授)

森 雅彦(S60、(株)森精機製作所 代表取締役社長)

植木 努(H元、コーワ総合会計事務所 代表)

【代表幹事】

熊本博光(S44、情報学研究科システム科学 教授)

【常任幹事】

会長指名幹事 熊澤正博(S43、(株)日立製作所)

支部代表幹事

関西：西出 裕(S58、住友電気工業(株))

関東：黒岩一郎(S55、住友重機械工業(株))

中部：光行恵司(S59、(株)デンソー)

中国・四国：石崎幸人(S43、四国電力(株))

大学側幹事

関西支部担当：塩路昌宏

(S50、エネルギー科学研究科エネルギー変換科学 教授)

関東支部担当：吉村允孝(S43、航空宇宙工学 教授)

中部支部担当：久保愛三(S41、機械理工学 教授)

中国・四国支部担当：牧野俊郎

(S47、機械理工学 教授)

九州支部担当：松久 寛(S45、機械理工学 教授)

名簿担当：横小路泰義(S59、機械理工学 助教授)

広報・ニュース担当：北條正樹

(S54、機械理工学 教授)

広報・HP担当：西脇真二(S61、航空宇宙工学 助教授)

会計担当：石山拓二

(S53、エネルギー科学研究科エネルギー変換科学 教授)

学生会担当：塩瀬隆之

(H8、情報学研究科システム科学 助手)

学生会幹事：小林直樹(H17、機械理工学修士1回生)

平成17年度京機会評議員(敬称略)

卒年	卒業年度代表 [()以外は関西]	地区担当			
		関西	関東	中部	中国・四国(九州)
S 2 0	谷口 浩				
S 2 1	大矢根守哉	鬼頭 勇			坪井 正
S 2 2	岸本 雅夫	岸本 雅夫(兼)			
S 2 3	岐美 格	尾谷 博敏	松井 宏雄(新)		
S 2 4					
S 2 5	森川 龍一	森川 龍一(兼)	真部 広隆		
S 2 6	吉川 和彌	村上 浩路	加藤 孝之		
S 2 7	鈴木 正直	山本 巖	小林富美彌	濱島 辰雄	
S 28旧	乾 宰人	乾 宰人(兼)	高橋 尚郎		寺谷 忠郎
S 2 8	西田 弘	宇多小路豊	西岡 良三		松田 安正
S 2 9	中井 良彦(新)	中井 良彦(新)	徳永 研一(新)		
S 3 0	大友 満	荒木 克治	佐藤 正敏	清水 孝	撰 親
S 3 1	橋本 昌	東 良学	戸田 凱夫	山本 新市	和中 宏樹
S 3 2	福森 康文	三輪 順計	木村 達也	赤松 利章	
S 3 3	野田 忠吉	中村 達	梅本 毅	池村 澄男	藤田 宏
S 3 4	柴田 俊忍	木谷 彰宏	三浦登志男	大鹿 澄男	川口 東白
S 3 5	松木 健次	矢部 寛	太田 脩二	小西 博	大熊 隆吉(九州)
S 3 6	四方 光夫	四方 光夫(兼)	宮下 直也、山本 明	井上 恵太	佐藤 義政
S 3 7	伊藤俊太郎	吉岡 肇	小野 孝之、浅田 昭	毛戸 節男、大岩 忠明	阿部 武治
S 3 8	中川 哲(中部)	大西 邦彦	善本 毅	野呂 周平	高橋 正
S 3 9	垣野 義昭	澤田 邦昭、村田 哲也			藤田 茂文
S 4 0		濱野 清士、西宗 久昭 林 紘三郎	柳井 誠、北川 正樹	荒川 義光	鷲尾 誠一
S 4 1	久保 愛三	古池 治孝	中垣 邦弘	松本 和男	石原 信勝
S 4 2	藤川 卓爾(九州)	堀家 弘	平尾 隆、有光 秀雄	加藤 由人、伊藤 和彦	下津 正輝
S 4 3	小島 達雄(中国)	林 完爾、大西 良弘	芳村 泰嗣、木内 誠司	瀧本 正民、中西 清	宇野 義幸、江藤 孝治
S 4 4	並木 宏徳	神田 剛、五味千秋、鴻野雄一郎	二井内親兵衛	野口 満之	
S 4 5	名張 隆司(新)	各務 嘉郎	坂口 喜好	田附 尚	薦田 哲男
S 4 6	三津田恒夫	三津田恒夫(兼)	松宮 徹	鈴木 昌彦	山本 博孝
S 4 7	秋山 雅義	成瀬 忠史	小澤 豊、広瀬 勇次	太田 誠一	新川登茂宣
S 4 8	佐々木美樹(関東)	成宮 明、安盛 善	増本 雄治	野口 好一	吉里 勉
S 4 9	閑納 真一	日下部博昭、市場良行、柏木健男	吉田 史郎		山崎 雅之
S 5 0	山西健一郎	盛林 茂夫	長田 守弘	下村 豊	溝淵 俊寛
S 5 1	杉江 俊治	深野 明	岩波 正、小松 富夫	棚橋 晴彦	中筋 和行(九州)
S 5 2	中井 善一	尾上 正剛、小島 敬良	清水 良亮(新)	佐々木一衛	生田 耕治
S 5 3	石山 拓二	北川 聡一、竹ノ内壯太郎	川口 靖夫	木村 忠司	小田 祐司(九州)
S 5 4	坂口 保彦	坂口 保彦(兼)	浜下 浩一	伴 鋼造	山下 道雄
S 5 5	小寺 秀俊	奥田 寛、姫田 篤	松浦 清、宮地 豊	敷田 卓祐	
S 5 6	榎木 哲夫	岡村 将光、谷垣 哲也	羽田 英夫、石山 和文		竹内 芳裕
S 5 7	上井圭一郎	三宅 俊也			
S 5 8	永瀬 豊	池内清晃、西村高明、疋田 理		山下 和彦	林 知得
S 5 9	横小路泰義	長岡 壯壽、有川 泰史	田中 正樹	平 弘二	
S 6 0	新井 聡(関東)	洲崎 章弘、鈴木 洋	村上 弘記		
S 6 1	蓮尾 昌裕	栗村 隆之、二股 一郎	粉川 良平	大塚 康司	後藤 知伸
S 6 2	川上 浩司	篠原健治郎	小川兼一郎	小関 智史	佐々木 克明(新)
S 6 3	玉川 雅章	加賀 邦彦	久保木 孝	近藤 好正	村田 健史
H 1	石谷 善博(関東)	柴田 豊、望月 正人	鳴海 一雅、栗栖 正充		平田 直人
H 2	水山 元	畑 善裕、三輪 雅彦	内山 雅史		
H 3	若林 英信		能勢 幸嗣	佐藤 利勝	
H 4	岩前 敦	福谷 和久、西田 大		久保 崇、佐分利誠司	堀内 匡
H 5	岩井 裕	雪本 徹、			廣門 泰樹(九州)
H 6	田中 和人	安威 俊重		阿部健一郎	
H 7	小森 雅晴	梅野 宜崇、井尾 賢司	古賀 響	泉 祐志、上坂 裕之	大西 徹史
H 8	泉井 一浩	塩瀬 隆之、平澤 拓	笹田 義幸		
H 9	佐野 智一	平山 朋子	杉原 了一		
H 1 0	鶴飼 宗紀	古株 慎一		山内 崇史	
H 1 1	佐藤 紘一				
H 1 2	小田 豊				
H 1 3	土井謙太郎				
H 1 4	金田 靖弘(新)	金田 靖弘(兼)			

事務局といたしましては、上記評議員を中心に全会員にご協力をいただきながら、各卒業年度同窓会との連携を密にしていきたいと考えております。

なお、九州支部設立に伴い、次年度より、中国四国ならびに九州地区双方の担当評議員の選出もお願いしたいと存じます。よろしくお願いたします。

平成16年度京機会決算報告 (自 H16.3.1 至 H17.2.28)

I. 一般会計の部

1. 前期繰越金

摘要	金額	内 訳	
		明 細	金額
H15年度会費前受金	1,251,500	みずほ銀普通預金	671,214
H16年度以降会費前受金	335,000	現金	23,862
前期繰越金	7,381,164	郵便振替	1,034,188
		郵便定期貯金	7,238,400
合 計	8,967,664		8,967,664

2. 収入

摘要	金額	内 訳	
		明 細	金額
預金利息	56,500	定期預金利息(基本金分)	94
		郵便定期貯金利子	56,400
		みずほ銀普通預金利息	6
H16年度会費収入	4,879,500	(注)上記前期繰越金のH15年度会費前受金1,251,500円との和	¥6,131,000が今年度の会費収入(*)
H17年度以降京機会会費前受金	1,050,000	(注)上記前期繰越金のH16年度以降会費前受金335,000円との和	¥1,385,000が今年度の会費前受金(*)
寄付金	302,500		
京機会名簿代	6,000		
京機会ニュース広告代	30,000		
秋季大会・交流会懇親会費	749,000	233名* @3000 50名* @1000	
学生と先輩の交流会参加費	513,000	171名* @3000	
預かり金	-307,750	H15年度関西支部事務委託費の前受金等	
合 計	7,278,750		

3. 支出

摘要	金額	内 訳	
		明 細	金額
会員通信費	1,095,378	評議員宛文書発送費	5,400
		春季・秋季大会案内発送費	929,490
		返信はかき後納郵便料金	118,495
		名簿発送費	37,273
		通信用切手等代	4,720
印刷費	1,021,912	春季・秋季大会案内等印刷費	115,500
		京機会ニュース(14.15号)印刷費	906,412
備品消耗品費	34,100	文具等消耗品購入費	34,100
人件費	2,050,635	常勤アルバイト代・保険代	1,886,635
		特別人件費	6,000
		臨時アルバイト代	158,000
旅費	352,204	幹事会役員旅費	136,000
		総会等出張旅費	187,204
		その他	29,000
会議費	82,272	幹事会経費	82,272
大会経費	643,230	総会懇親会等経費	600,000
		総会・評議員会関連経費	43,230
支部交付金	1,505,988	関西支部交付金	561,836
		関東支部交付金	405,938
		中部支部交付金	275,082
		中国四国支部交付金	213,132
		九州の会	50,000
学生会事業費	258,124	交流会経費	171,179
		その他事業費	16,227
		講演旅費等	69,500
		備品・消耗品代	1,218
雑費	265,762	郵便振替振込手数料	102,380
		銀行振込手数料	14,595
		銀行自動引落関係手数料	25,882
		データベース作成/不改良費等	110,000
		その他	12,905
名簿積立金	355,000		355,000
合 計	7,664,605		

4. 次期繰越金
(H17.2.28現在)

摘要	金額	内 訳
みずほ銀普通預金	975,501	(内訳)
現金	26,675	会費前受金
郵便振替	284,833	(内)H17年度会費前受金
		次期繰越金
郵便定期貯金	7,294,800	
合 計	8,581,809	¥8,581,809

5. 名簿積立金

摘要	金額
現金	0

京機会九州支部設立総会のご案内

「京機九州の会」は今年度より「京機会九州支部」になります。

つきましては「九州の会」の今年の行事を「京機会九州支部設立総会」として、下記のとおり11月5日(土)に熊本県阿蘇にて開催いたしますので、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

11月5日(土)は総会・懇親会の前に、九州電力八丁原地熱発電所の見学会、また、翌日の11月6日(日)は、ゴルフ大会・観光等を計画いたしております。他支部の方のご出席も大歓迎いたします。

1. 日 時：平成17年11月5日(土)、6日(日)

2. 場 所(会場)：

第一部：見学会 5日(土) 13:00～14:30

九州電力八丁原地熱発電所

〒879-4912 大分県玖珠郡九重町大字湯坪字八丁原

TEL：0973-79-2853

○JR久大本線「豊後中村駅」から約20km、車で40分

○バスは中村駅～筋湯温泉行き終下車(約1時間)、徒歩20分

○大分自動車道、九重ICから車で40分

第二部：設立総会・懇親会 5日(土) 17:00～20:00

三菱重工阿蘇高原クラブ

〒869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰5-35

TEL：0967-67-3100

◎宿泊費・懇親会費含めて約10,000円

第三部：ゴルフ大会・観光

ゴルフ：6日(日) 09:03スタート

阿蘇東急ゴルフクラブ

〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽4369-1

TEL：0967-67-1616

キャディー付き約14,000円＋賞品代1,000円

観光：阿蘇山、黒川温泉、熊本市方面

3. 申し込み方法：

九州支部事務局にてメールアドレスがわかる方には既にメールにてご案内済みです。まだ申し込まれていない方は、**10月30日(火)までに**、京機会HP(<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)からお申し込みいただくか、同封のはがきで出欠回答下さい。



九州電力八丁原地熱発電所【MAP】



三菱重工阿蘇高原クラブ【MAP】

関西支部からのご報告とお知らせ

平成17年度上期活動報告(前号までの報告以降)

■異業種交流会

第19回：平成17年3月25日(金)

住友金属工業(株) 和歌山製鉄所 参加人数：27名

見学：PRセンター、高炉・新製鋼工場、中径管工場

講演：「ビレット(管用素材)の効率的製造技術」

芳山 純一郎氏(S56)

「新世代中径シームレス鋼管製造技術の開発」

川端 廣己氏(S55)

第20回：平成17年9月6日(火)

大阪ガス(株) 導管技術センター 参加人数：65名

見学：G&P西島エネルギーセンター、

導管技術センター、舞洲営業技術センター

講演：「都市ガス供給と防災技術」

吉田 乙雄氏(H2)

「家庭用コージェネレーションシステムの普及促進」

丹羽 哲也氏(S60)

「大阪ガスの電力卸供給事業(IPP)」

濱口 喜宏氏(S56)



第19回



第20回

平成17年度上期活動報告(つづき)

■産学懇話会

第19回:平成17年4月9日(土)13:30～

場所:京都大学・物理系校舎 216室

講演:主題「日本のものづくりについて」

「圧延設備のものづくりについて」

芳村 泰嗣氏(S43) 三菱日立製鉄機械(株)

「機械部品形状精度の保証について」

久保 愛三氏(S41) 京都大学

参加人数:29名

第20回:平成17年7月16日(土)13:30～

場所:京都大学・物理系校舎 216室

講演:「20年後に実用化されるロボットとは?」

横小路 泰義氏(S59) 京都大学

「産学連携を通じてのベンチャーインキュベーションの取り組みについて」

徂西 裕之氏 TSI(株) 代表取締役

参加人数:40名

■MOT研究会

第15回:平成17年2月18日(金)～19日(土)

場所:ヤンマー(株)琵琶湖セイレイ荘

講演:「京大機械工学系への期待」

西田 弘氏(S28、ダイハツ工業(株)社友)

演習:「これでわかった!決算書の構造と作り方」

脇田 一郎氏(S52、監査法人トーマツ)

参加人数:22名

第16回:平成17年5月27日(金)

場所:ガーデンシティクラブ大阪

講演:「知識経済社会における起業のあり方」

林 完爾氏(S43、(有)ジーム)

参加人数:28名

特別企画「文楽鑑賞会」:平成17年7月23日(土)

場所:国立文楽劇場

演題:「摂州合邦辻」の

「万代池の段」「合邦庵室の段」

参加人数:20名



第15回

文楽鑑賞会

■京機九日会

4月9日(土) 参加人数18名

講演:「私大での設計製図講師10年で思うこと」

大泉治朗氏(S34)

民間企業経由現在摂南大学ご勤務の経験から、様変わりしている大学の事情を、種々の断面からお話しいただいた。

6月9日(木) 参加人数17名

講演:「技術者、技能者の育成問題」吉岡肇氏(S37)

大中小の企業で仕事された経験をもとに、人の教育はどうすべきかなどお話しされた。日本の戦後教育制度の問題を含めて、活発な意見交換があった。

8月9日(火) 参加人数27名

講演:「JSTの役割について」笹田滋氏(S48)

午前中、科学技術振興機構・笹田氏のご講演の後、研究成果活用プラザ京都を見学。桂キャンパス内「レストラン・ラ・コリーヌ」にて仏料理の昼食後、午後は桂キャンパスBクラスターで概要紹介を受けた後、機械理工学専攻小森教授及び同研究室のご案内でキャンパスを見学した。

■京機・京都の会

第27回:7月3日 参加人数16名

講演:「ベンチャービジネス“キャリアネットワーク京都”の5年間」元田武彦氏(S40)

2001年積水化学を退社後キャリアネットワークを設立し、ITを中心として人材派遣、ソフト開発、ネットワーク構築事業を展開しておられる。売上高2億近い会社に来て成長させた苦労話を伺った。

第28回:9月3日 参加人数17名

講演:「工学の知恵・遊び・夢を育む“おもちゃ”」

牧野俊郎氏(S47)

関西支部今後の活動予定ご紹介

平成18年度新年会のご案内

日時:平成18年1月13日(金)18:30～20:00

場所:ホテルグランピア大阪

詳細は、別途WEBおよびメールでご案内します。

第21回 産学懇話会のご案内

日時:平成17年11月26日(土) 13:30～

場所:京都大学・物理系校舎 216室

詳細は、別途WEBおよびメールでご案内します。

京機・京都の会のご案内

開催日時:3、7、9、11月の第1土曜日

11時～13時30分

場所:京都/ウェスティン都ホテル

京機九日会のご案内

開催日時:12、2月を除く偶数月の9日

(日曜日の場合は10日) 11:00～14:00

場所:大阪梅田の中央電気クラブ

10月11日:中村陽一氏(S34)

「新入社員の教育を担当して思うこと(仮題)」

第17回 MOT研究会のご案内

日時:平成17年9月30日(金)18:00～

場所:ガーデンシティクラブ大阪

(大阪市北区梅田 ハービスOSAKA6階)

講演:「わざの伝え方」いまむかし

～伝統技能の継承からナレッジマネジメントまで～

塩瀬隆之氏(H8) 京都大学

第18回 MOT研究会(講演会と忘年会)のご案内

日時:平成17年12月2日(金) 18:00～

場所:未定

関東支部からのご報告とお知らせ

新幹事企業8社のご紹介

関東支部は本年度から、従来の幹事企業11社(日立製作所、三菱重工業、日産自動車、富士写真フイルム、東芝、住友重機械工業、新日本製鐵、本田技研工業、JFEスチール、日本電信電話、石川島播磨重工業)に、新たに8社(日本航空インターナショナル、日本アイ・ピー・エム、住友金属工業、日本たばこ産業、野村総合研究所、キヤノン、ソニー、日本電気)に加わって頂き、19幹事企業から選出された評議員で運営をスタートしました。



新評議員の顔ぶれ(H17.6.23 住重赤坂寮にて)

第4回異業種交流会の報告

平成17年5月20日(金)に、恒例となっています第5回異業種交流会を、住友重機械工業(株)千葉製造所殿で実施いたしました。プラスチック機器事業部のご紹介とテクノロジーセンター&クリーンルームでのディスク射出成型実演、および「光学部品成型技術の動向」と言うテーマでのご講演を頂きました。26名の参加者は、プラスチックの超精密射出成型技術がDVD等の最新情報メディア技術を支えていることを、工場見学と講演により理解させていただき、感銘を受けました。交流会後の懇親会も全員参加の盛況で参加者一同、有意義な一日を過ごすことが出来ました。

尚、交流会翌日に千葉の太平洋クラブ市原コースで懇親ゴルフを実施いたしました。



第5回異業種交流会(H17.5.20 住重千葉製造所)

京都大学21世紀COE社会連携セミナー & 関東支部SOEの報告

第5回セミナー&関東支部SOE

21世紀COEプログラム産学協同セミナーは大学のご尽力と関東支部の協働でスタートし、早くも、第5回目を開催する運びとなりました。今回3月7日は23名の参加を得て、大学からは①北村隆行先生(S52)による「複雑性と材料力学」、②鈴木基史先生(S61)による「薄膜のナノ形態の制御と機能」の最先端技術のお話を、企業からは富士写真フイルム(株)生産技術本部秋好主任による「トランサーシステムによる大

型液晶カラーフィルターの生産方式(2m四方の液晶基盤でギャップばらつき100ナノメートル以下に挑む精密技術)」の技術発表がおこなわれました。それぞれ興味深い中味で、フロアからの質問が引きも切らず、司会者が時間管理に苦勞する状況でした。その後はSOE(Salon of Excellence)にてCOEのテーマを肴にしてご参加の先生、皆様の親交を今回も更に深めることができました。

第7回セミナー&関東支部SOE

第7回社会連携セミナーは7月22日(金)に東京の学士会館にて20数名の参加者のもと開催されました。

テーマは「持続社会とこれからの機械工学」で、京都大学榎木哲夫先生(S56)、富田直秀先生(S54)、新日本製鐵(株)松宮徹フェロー(S46)の三氏より、講演を頂きました。榎木先生からは「ポスト人間中心の自動化設計」、富田先生からは「無駄の役割」、松宮フェローからは「持続性社会構築を目指す鉄鋼技術」と題し、興味深いお話をうかがうことが出来ました。セミナー終了後、引き続き同会場で関東支部懇親会(SOE)を催し、講師を交え立食形式で意見交換を行うとともに、会員相互の親睦を図ることが出来ました。



第8回セミナー&関東支部SOE

9月16日(金)神田学士会館に於いて、下記テーマにてセミナーを開催いたしました。セミナー終了後、関東支部懇親会(SOE)も実施いたしました。

テーマ：『複雑系流体力学の産業への応用』

- 1) 「プラズマを用いた超微細加工技術と宇宙マイクロナノ工学」 京都大学航空宇宙工学 斧 高一 氏
- 2) 「格子ボルツマン法による複雑流れのシミュレーション」 京都大学航空宇宙工学 稲室隆二 氏
- 3) 「イオン電流計測を用いたフォーミュラエンジンの燃焼モータリクスシステム」 (株)本田技術研究所 島崎勇一 氏

第9回京都大学21世紀COE社会連携セミナー & 関東支部SOE活動予定ご案内

場所：神田学士会館

日時：11月19日(土)

13:30~17:00 COE社会連携セミナー

テーマ：『複雑系機械材料学』

17:00~19:00 京機会関東支部懇親会(SOE)

平成18年関東支部総会・新年会ご案内

平成18年度関東支部総会・新年会は平成18年3月25日(土)に開催予定です。(現在3月25日に仮決定していますが日程変更の可能性がありますが)会場は神田学士会館の予定です。詳細案内は後日ご案内します。ので皆様のご参加をお願い致します

中部支部からのご報告とお知らせ

平成16年度支部総会&懇親会の報告

平成17年4月23日に(株)デンソー「Dスクエア」にて平成16年度京機会中部支部総会&懇親会が開催された。当日は京都大学より学生フォーミュラ代表者の高橋さん(M2)にも参加頂き、総勢70名の会となった。

総会ではまず松本支部長(S41)より挨拶があり、その後、来賓として京機会会長小澤様(S33)、関西支部長中谷様(S37)よりご挨拶を頂いた。引き続き伊勢事務局長(S53)より平成16年度の支部活動報告、会計報告、平成17年度支部役員案報告があり承認された。新支部体制を代表し、瀧本新支部長(S43)の挨拶、光行新事務局長(S59)の平成17年度支部行事計画報告があった。

総会終了後、特別講演として東邦ガス平田様(S60)から「都市ガスパイプラインの地震対策～東海・東南海地震への備え～」、また、京都大学の久保教授(S41)から「人間の本性と環境への反応」と題したご講演を頂いた。

講演終了後、懇親会が行われた。懇親会の中では、「学生フォーミュラ大会」のカート製作資金援助の申し込みも行われ、後輩の活躍を願う多くの会員が賛同し、カート走行風景の上映など現状の活動状況報告にも大いに盛り上がった。

最後に恒例の琵琶湖周航の歌を大きな1つの輪になって合唱！とても楽しいひとときを過ごせたと思います。

なお、支部役員は右記の通り。

平成17年度中部支部役員(敬称略)

支部長: 瀧本正民(トヨタ自動車)

副支部長: 久保愛三(京都大学)、佐々木一衛(豊田自動織機)、太田誠一(三菱自動車)、藤山一成(名城大学)

監事: 松本和男(デンソー)

事務局長: 光行恵司(デンソー)

事務局次長: 柴 晴彦(トヨタ自動車)

評議員: 渡辺真吾(日本ガイシ)、三輪邦彦(ヤマハ発動機)、久米健夫(三菱自動車)、渡辺哲也(中部電力)、平田直人(東邦ガス)、阿部健一郎(三菱重工)、川合悦蔵(新東工業)

顧問: 中川 哲(キャタラー)、加藤 由人(愛三工業)



平成16年度支部総会&懇親会

中国・四国支部からのご報告とお知らせ

平成16年度異業種交流会について

平成17年2月18日、四国電力(株)原子力保安研修所(松山市)にて、中国・四国支部総会を開催しましたが(支部総会については前回ご報告済)、当日、異業種交流会を同時開催しました。参加者は28名でした。

異業種交流会では、「新たな技術・評価の開発と活用を目指して」をテーマとして、

①「世界初・がん病巣への高精度四次元放射線治療装置について」

平井悦郎氏(S56)(三菱重工業 広島研究所機械プラント研究推進室室長)

②「エア-浮上コンベアについて」

山本 謙氏(S50)(宇部興産機械 代表取締役社長)

③「リスク情報の保守管理等への活用を目指した取り組みについて」

友澤孝司氏(四国電力 原子力保安研修所 GL補佐)

と題して、興味深い話題を提供していただきました。

平成17年度活動状況と今後の予定について

①若手・ミドル会員の交流会

岡山地区は9月3日(土)に、広島地区は9月17日(土)に若手・ミドル会員の交流会を開催しました。

交流会では様々な話題、課題などについて自由にディスカッションし、会員間の交流を一層深めることができました。

また、四国地区については、以下の日程で交流会を開催いたします。(役員連絡会も同時開催。)

- ・日時: 10月8日(土)、9日(日)
- ・場所: センチュリープラザホテル(徳島市)
橘湾石炭火力発電所

②支部総会

- ・日時: 未定です。(第1候補: 平成18年1月下旬頃)
- ・場所: 福山で開催する予定です。



平成16年度異業種交流会

若手・ミドル会員の交流会(岡山)

学生会 (SMILE) からのご報告とお知らせ

実施企画報告

■技術士試験説明会

日時：平成17年5月18日

講演者：佐藤国仁様 (S44、(有)佐藤R&D)
西脇眞二様 (S61、京都大学)

参加学生：60名(主に4回生)

内容：技術士資格の有用性や将来性、また、技術士としての生き方について、ご講演いただきました。

■インターンシップ説明会

日時：平成17年6月13日

講演者：上原一浩様 (S53、(株)神戸製鋼所)
インターンシップ経験学生5名

参加学生：54名(主に3回生、修士1回生)

内容：企業の方から見たインターンシップの位置づけをご講演いただきました。また、昨年度インターンシップ参加学生から、体験談を具体的に話していただきました。

■京都工場見学

日時：平成17年8月29、30日 9月2日

内容：昨年度と同様に京都府下の中小企業を訪問させていただきました。

■中部工場見学

日時：平成17年9月7、8日

内容：トヨタ自動車、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所、豊田自動織機産業技術記念館を訪問させていただきました。

今後の予定 (9月9日現在)

今後キャリア企画と題しまして、10月15日に「自身の将来について考えるきっかけ作り」を目的としたもの、10月後半に「自身を客観的に知り、正確に表現する」を目的としたもの、11月には進路決定に役立てるような工場見学や、財務諸表から業界の動

向を読む力を養うものを企画しております。

これらの企画を通して、学生が自身のキャリアについて深く考えた末に、12月の「学生と先輩との交流会」を迎えたいと考えております。

学生と先輩との交流会について

「学生と先輩との交流会」とは京都大学機械系を卒業され、現在、様々な分野で活躍されているOBの方々に母校に来ていただき、学生と“直接”会って、話をしたり、学生の質問に答えたりしていただいています。昨年はこの交流会に、90社以上、約170名に及ぶ先輩方(約60名の非卒業生含む)と約150名の機械系在学生が参加しました。

今年は、12月3日(土)に京都大学物理系校舎で開催されます。「学生と先輩の交流会」は京機会総会と同日開催であり、交流会・京機会総会全体での懇親会が予定されています。

交流会でお話を聞くことができなかつた方々と個別に話をすることができると思っていますので、是非ご参加ください。

学生会では、交流会を学生、企業双方により有益なものにするために様々な企画を検討しています。先輩方も学生とざっくばらんに話せる貴重な機会かと思っておりますので、積極的に学生と話していただくと光栄です。

今年も交流会への御協力を宜しくお願い致します。

学生フォーミュラチーム「KART」との連携

9月6日～9日に富士スピードウェイで開催された学生フォーミュラ大会にて、今年度より学生会と連携を始めた京大チーム「KART」は、41校中12位の好成績を収めました。詳細は、次号において「KART」よりご報告いたします。(表紙写真参照)

大学の法人化について

大学の独立法人化が数年前より叫ばれ、多くの人にとって、独立法人とは何かイメージできなかった。ある人は、国鉄の民営化と同じように、独立採算制になるのかと想像した。法人化の目的としては、①個性豊かな大学づくりと国際競争力ある教育研究の展開、②国民や社会への説明責任の重視と競争原理の導入、③経営責任の明確化による機動的・戦略的な大学運営の実現、といわれていた。そして、平成16年度より法人化され「国立大学法人京都大学」となり、管理運営機構が整備された。組織形態としては、役員会(理事7名)、経営協議会(主に経営面を審議、学外者12名、学内者12名)、教育研究評議会(主に教学面を審議学内者67名)が従来の部局長会議の上に置かれた。また、基本理念や中期計画教職員像、環境憲章、知的財産ポリシー、産学連携ポリシーなどが策定された(詳しくは京都大学のホームページを参照)。

法人化によって一体何が変わったのか。管理運営機構(時計台)の権限が強化されつつある。多くの大学では、学長などの管理者の選挙から任命制への移行、教授人事で大学の承認、個人に均等配布される研究費の減額などが話題になっている。京大でもその兆しはあ

る。しかし、民間企業の人から見れば、基本的には何も変わっていない。すなわち、国からの予算はほぼ同額支給され倒産の心配はない。教員の降格はなく、定年(京大の教員は63歳)まで安泰である。研究の自由も保障されている。事務機構は従来の慣習を踏襲し、学部や学科は自治、独立、自由といった権利を主張する。このような状況では、なかなか上記の目的を実現するのはむずかしい。

ところで、この目的や理念は、法人化されなくても一見当然のことであるように見える。しかし、なぜこれまで実行されなかつたのかを問い直す必要がある。そもそも、理念や目的自体に矛盾を抱えている。京都大学の理念を語るときに常に自由という言葉が登場するが、各研究者、各学部にも自由、自治を保障してかつ目的③を実現するのは至難の技である。また、いまの入学試験制度のもとで個性豊かな学生が集まるのか、教育の場に競争原理の導入はなじむのか、など考えればきりが無い。

与えられた紙面では書ききれないので、もう少し私見を近日中に京機短信に記します。

(松久 寛記)

21世紀COEプログラムのページ

世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進することを目的に、文部科学省により平成14年度から「21世紀COEプログラム」が実施されています。平成17年度の活動状況をご報告いたします。

動的機能機械システムの数理モデルと設計論 「複雑流体现象の解明とそのモデリンググループ」

昨年度のニュースでも紹介したように、機械理工学および航空宇宙工学の2専攻に所属する熱流体工学関連の8研究室は、「複雑流体现象の解明とそのモデリング」のための研究グループを構成し、各構成メンバーが得意とする複雑流体现象に関する基礎研究を積極的に推進し、一流国際雑誌に論文発表を行うこと、および国際交流等を通じてその研究成果を世界に発信することにより、複雑流体研究のためのCOEを形成することをめざしている。メンバー独自の基礎研究の推進に加えて、それらの基礎研究をベースにした複雑流体现象に関連する代表的研究として「乱流制御システムの開発」および「大気・海洋システムのモデル化」を取り上げ、グループ内の研究者はもとより国内外の研究者をも取り込みながら研究を推進している。紙面の都合上、詳細は平成16年度のCOE年次報告書に譲るが、平成16年度の複雑流体研究グループの具体的活動成果としては、一流の国際雑誌発表論文16報、国際会議での発表47件、若手研究者への研究費援助12件、若手の海外研究機関への武者修行派遣5人、グループメンバーを委員長とする国際会議開催数4件、海外研究者招聘・派遣約100件、流体領域高等研究院との連携セミナー等開催6件があり、当研究グループとしては、十分な活動を行うことができたものと考えている。

小森 悟(工学研究科)

◎「複雑構造材料の特性解析グループ」「複雑系の制御・設計論グループ」は、次号にてご報告させていただきます。

環境調和型エネルギーの研究教育拠点形成

エネルギー科学研究科は平成14年11月より表記プログラム(現拠点リーダー 吉川 暹 教授)を実施しています。全体の概要はニュースレター14号で紹介いたしましたので、本会所属の教員(エネルギー変換科

学専攻)の最近(平成16年度)の研究テーマをお伝えします。

塩路昌宏教授、Ali Mohammadi講師：シリンドラ内直接噴射による火花点火水素エンジンの高出力・高効率化の研究

松本英治教授、琵琶志朗助教授：極限環境下の材料内部欠陥の検出を目的とする電磁超音波探触子の開発研究

星出敏彦教授、今谷勝次助教授：エネルギーシステム機器の耐疲労設計に資する、応力多軸性を考慮したき裂発生モデル化と、シミュレーション技術の開発

石山拓二教授、川那辺洋助教授、奇 成慶助手：エタノール・軽油混合燃料と最新の燃焼技術との組み合わせによるディーゼル機関の排気改善研究

さらに詳しい研究内容や、本プログラムの最新の活動状況をお知りになりたい方は、下記にアクセス下さい。<http://energy.coe21.kyoto-u.ac.jp>

今後の公開シンポジウム(一般参加可能)等の情報についても上記ホームページに掲載される予定ですので、ぜひご覧いただきご参加ください。

石山拓二(エネルギー科学研究科)

知識社会基盤構築のための情報学拠点形成

本COEは情報学研究科の四専攻(知能情報学、社会情報学、数理工学、システム科学)と学術情報メディアセンターが母体となっている。知識の利用・生産が中心となる知識社会に備えるために、知能メディア、データベース、基礎理論の三つの得意分野を有機的に組み合わせ研究拠点形成を進めるとともに、京都大学伝統の国際性、フィールドワーク重視という特性を活かした若手育成や地域連携に特色のある研究教育活動プログラムを推進している。

特にユニークな点として、(i)知識社会基盤構築という観点から情報学に求められるものの追求を目指している点(ii)海外機関や企業研究所との連携拠点を積極的に設置し、共同研究・人材育成を推進している点(iii)地域ネットの構築や小中高の情報教育など積極的に地域連携を行っている点があげられよう。

COEプログラム委員会における中間評価においても、非常に高い総合評価を得ている。

杉江俊治(情報学研究科)

特別企画「テニスを楽しむ会」のご報告

平成17年5月28(土)に、(株)島津製作所様のご厚意により、同社テニスコートをお借りし、特別企画「テニスを楽しむ会」を開催いたしました。21名の皆様にご参加いただきました。

同社ご所属の猪野玲子プロもお招きし、晴天の下、テニスを楽しみました。その後、コート近くの会場にて、懇親会も開催いたしました。

今回が、初めての企画でしたが、参加者各位より「楽しかった」とのお声を多くいただきました。また、緊急企画でした為、ご参加できなかった方より、次回開

催のご要望もいただいております。今後も同会開催の機会を持てればと考えております。(表紙写真参照)



会員のページ

「京機EK会」(遠藤研・駒井研)同窓会のお知らせ

このたび、遠藤研・駒井研出身の同窓会を、「京機EK会」と名付けて、第1回の会合を以下の要領で開催いたします。卒業後のお互いの情報交換や学生時代の思い出話に楽しい一刻を過ごしましょう。

日時:平成17年11月13日(日)13:00~16:00頃
会場:京大100周年記念館2階「国際交流ホールⅢ」
会費:1万円

1. 京機EK会発足にあたっての議事
2. 講演二題
3. 懇親会

連絡先:参加申込はメールまたはFAXにて田中和人迄

第22回花房研究室同窓会開催のお知らせ

第22回(2005年度)花房研究室同窓会を、下記にて開催いたします。また併せて第17回ハイテクノロジー懇話会も同時開催いたしますので、同窓生の皆様多数の御参加をお願いいたします。

日時:2005年11月26日(土)
ハイテクノロジー懇話会 16:00~
花房研究室同窓会 17:00~

場所:京都センチュリーホテル(京都駅前)

なお、詳細はおってお知らせいたします。

第21回同窓会記念写真は、P. 16に掲載しております。
担当:市原 順一

第18回機河会(河本研究室同窓会)開催のお知らせ

日時:平成18年8月26日(土)12:30~
場所:京大会館SR室
幹事:赤松利章、稲積 充、小浜弘幸(各S32)
連絡先:小浜弘幸 〒574-0026 大東市住道1-1-10

24年会平成17年度同窓会報告

日時:平成17年3月4日(金)
場所:魚清楼(大津市堅田)

特異な茶室と素敵な庭園を持ち、国の名勝に指定された“天然図画亭”を見学し、引き続いて一休和尚が12年間修行した“祥瑞寺(臨済宗大徳寺派)”を見学した。幸い、何れの施設もウィークデーのためか観光客が少なく、十分な説明を受け、詳細に見学することが出来た。

宴会場では琵琶湖とその周辺の“名産”を味わいながら話に花が咲いた。互いに近況を話し合い、病氣予防や闘病についての経験が語られるのは高齢に達したからか。集合前に収録した全会員の“近況報告”によっても体調不良を訴える方が多いようだ。

話は懐旧談におよび、多くの経験や失敗例が披露され、時間の過ぎるのも忘れて愉快に話し合った。誰もが危惧する老化についても、その防止方法について種々の対策を講じているようで、元気で再会出来る事を念じつつ閉会した。(出席者:岩本、落合、笠田、川谷、坂口、武林、玉井、徳永、松浦、村田、以上10名。)

(岩本記、P. 16の写真参照)

五十年会(S25)2005年 春季例会報告

日時:平成17年5月9日(月)
場所:(社)大阪倶楽部 出席者:14名
田中幹事より当日欠席されてた方々の近況報告がありました。

今回の卓話は、梶君の「日本の海運に関するメモ」がテーマで、永年の造船の知識と最近のデータを基に、日本の海運、造船業界の現状と問題点について話されました。次いで野木君より機河会、森川君より京機会の報告がありました。

最後に出席者全員の近況報告、そして次回からの幹事として合田英之、木本正丈両君にお願いすること決め、平成17年10月24日大阪倶楽部で秋季例会を開催することとして散会しました。

(山中記、P. 16の写真参照)

平成17年度悟美会(S28-新制)総会報告

平成17年5月26日(木)午後1時よりポートピアホテル31F、レストラン、アランシャペル(神戸市中央区ポートアイランド)にて開催した。今回は欠席者が多く、出席者15名、欠席者13名とほぼ同数であった。冒頭に、河南敬章氏がこの会の直前に急逝されたことの報告があり、冥福をお祈りした。

今回はすばらしい眺望の会場でおいしいフランス料理を食べながら、お互いの消息や健康を確かめ合い、前回からの1年半の間に起こった様々な出来事などにつき、熱のこもった歓談にしばしの時を過ごした。最後に、2年後の関東での再会を期して散会した。(中川隆夫記、P. 16の写真参照)

昭和37年卒同窓会報告

日時:平成17年5月20日
卒業後43年、中途半端な年回りですが久しぶりに京都に21名が集い、幹事の吉岡肇君のアイデアで、桂キャンパスを見学。

化学系、電気系、建築系は既に大学院授業が始まっていますが、物理系(機械)の移転はまだでした。好天の中、京都市街を一望できる景観と広々としたキャンパス巡りを楽しんだ後、近くの「筍亭」で京の味も堪能しました。筍の季節にこのコースはお勧めです。

尚、37年卒同窓会は東京で毎年の新年会が恒例になっています。(伊藤俊太郎記、P. 16の写真参照)

京機38年会同窓会報告

日時:平成17年4月17、18日
場所:名古屋 出席者:26名

3年ぶりの集まりを万博開催に合わせて名古屋で行いました。初日はトヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館を訪問して、紡織機を発明した豊田佐吉翁の偉業を偲んだり、素敵な案内嬢から車の歴史を教えられながら、日本の自動車産業の歩んだ道をたどりました。夜は貸し切りの居酒屋で、食べ放題・飲み放題、遅くまで旧交を暖めました。

翌日の万博はさすがに大混雑。しかし、うまく事前手配をしたおかげで、トヨタパビリオンをはじめ多くの施設を手際よく見学して流れ解散。春の2日間を最近元気な中部地区の活気を確かめながら再会を喜びました。(幹事 中川 哲、P. 16の写真参照)

昭和43卒京機会・異業種交流会実施報告

8月5～6日に、「異業種交流会」という名目で、「モノづくりの歴史と未来」をテーマに、産業技術記念館と愛知万博を見学し、過去から現在、未来に至るモノづくりの実態を確認すると同時に会員の皆さんの交流を深めましたが、韓国や中国の台頭で、「日本のモノづくり」に対する不安の声がある中で、「チームワーク」や「個人の改善提案」を大切にするDNAが継承されている限り、まだまだ、日本の将来は明るい事を再確認致しました。

今回は、中国・四国地区で開催する事になりましたが、各地区で現役で活躍している人が毎年減少していく中で、同窓会の中身や開催場所については、ぼちぼち見直す必要があるかもしれません。

中部地区幹事 赤羽、加藤、瀧本、中西、新美、御子柴
(瀧本正民記、P. 16の写真参照)

故 西橋良二君(S54卒)遺児育英基金報告

今年6月にお問い合わせいたしました、故西橋良二君遺児育英基金に関しましては、多くの皆様の温かいご賛同を頂き、発起人一同、厚くお礼申し上げます。8月末で口座を閉じさせていただきました。発起人を含む同期生、先生方、出身研究室の合計47名の方から多額のご賛同をいただきました。

9月4日に3名の仲間で西橋家を訪問し、育英基金お

よび拠金者目録を故西橋良二君の仏前に供えて参りました。恵子夫人からは「大勢の方から貴重なご寄付をいただき、皆様に何とお礼を申したら」と感謝され、早苗さん(高1)、卓也君(中1)からは「お父さんの遺志をついでがんばって勉強する」とのしっかりとした返事がかえってまいりました。

発起人一同としての報告とさせていただきます。多数の方にご賛同いただき、本当にありがとうございました。

故 西橋良二君 遺児育英基金 発起人一同

第17回機河会(河本研究室同窓会)報告

河本研究室同窓会の機河会は、今年、第17回を迎え、8月27日(土)午後1時から京大会館SR室にて開催されました。

参加者は、先生ご夫妻とご長男の崇様を含めて23名です。初めに、崇様から、先生がこの1年で予想以上に体力を回復されたことと、崇様ご自身の経験に基づく介護の奥義が披露され、大きな感銘を受けました。引き続いて最年長の西岡様の御発声で乾杯し、立食パーティに移りました。先生は途中でお帰りになりましたが、出席者各位からユニークなスピーチを頂き、和気藹々の懇親の場となりました。

最後に次回の幹事を、S32年卒の赤松、稲積、小浜の3氏にお願いすることを決め、閉会しました。

教員の異動

異動

- ◆田中和人講師：本年4月1日、同志社大学工学部機械系学科 助教授に就任
- ◆長田孝二講師：本年4月1日、名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻 助教授に就任

就任

- ◆徐 虬助教授：S59北京科技大・工・応用物理卒、H4九大・総理工・修士課程高エネルギー物質終了、H7九大・総理工・博士課程高エネルギー物質終了(博士(工学))。同年、原子炉実験所助手。H17. 8. 1原子炉実験所助教授。金属材料における照射効果の実験とシミュレーションに関する研究に従事。
- ◆津守不二夫講師：H6 東大・工・金属卒、H8 東大院・工・金属修士、H11東大院・工・金属博士後期課程修了、



同年、博士(工学)の学位取得。その後、大阪府立産業技術総合研究所客員研究員。H13. 10月に本学工・機械・加工プロセス工学分野助手に採用された。粉末冶金・粉体成形に関する、計算機解析およびプロセス開発に関する研究に従事。



- ◆東 俊一助手：H11広大・工・第2類(電気系)卒、H13東工大院・理工・制御工学修士、H16東工大院・情報理工・情報環境学博士後期課程修了(博士(工学)を取得)、同年4月より日本学術振興会特別研究員、11月よりジョージア工科大学客員研究員、H17. 9より本学大学院情報学研究科システム科学専攻助手。システム制御工学、特にハイブリッドシステム論などの研究に従事。



京機会関連教室送別パーティーのご報告

平成17年3月25日(金)、河原町今出川下ルのカフェレストラン "dish"(イタリア料理)にて、本年3月にてご退官の「吉川教授、藤本教授、岡田助教授(当日欠席)、金丸助手、正脇助手(当日欠席)と古川事務官」とご転出の「田中講師、長田講師、林事務官」のこれまでのご業績をたたえ、今後のなご活躍を祈念して、送別パーティーを開催しました。

(写真前：藤本教授、吉川教授、金丸助手、

写真後：田中講師、長田講師、林事務官、古川事務官)





京機24年会同窓会



京機38年会同窓会



50年会(S25)春季例会



昭和43卒京機会・異業種交流会



悟美会(S28-新制)総会



花房研同窓会



昭和37年卒同窓会



第18回機河会(河本研究室同窓会)

編集担当：北條正樹、小森雅晴、平方寛之、伊藤靖仁、段 智子

投稿記事についてのお願い

原稿字数は、300字以内でお願いいたします。300字以上の場合、都合により事務局にて文章省略させていただくことがあります。ご了承下さい。なお、お送りいただいた写真は返却いたしません。画像ファイルも可能です。次号(No19)の締切は、12月末日です。